

最優秀賞



小野地域まちづくり協議会 東松島市

みやぎ花の

審査の結果、
7団体が
入賞しました

あるまちコンクール

花づくりや緑の育成を通じて、地域づくりや人々との交流を行っている町内会(自治会)、子供会、老人クラブ、災害公営住宅等の自治組織、ボランティア団体、事務所等を対象としたコンクールです。

地域(災害公営住宅等を含む)での協力・交流、企画・デザイン性、その他、環境に配慮した取組等が評価されました。

優秀賞



加美町四日市場宿行政区 加美町



東笠島地域資源保全隊 角田市

災害公営住宅 コミュニティづくり賞



女川町女川南区 女川町

審査員特別賞



大衡村衛中東行政区 大衡村



白石市大平第2区自治会 白石市



新田地区子ども会 角田市

もくじ

表紙:みやぎ花のあるまちコンクール受賞作品

- みやぎ花のあるまちコンクール最優秀賞紹介…… 2
- すばらしいみやぎを創る協議会の紹介…… 2
- すばらしいみやぎを創る運動功績者の紹介…… 3
- 県民運動の紹介…… 4, 5

- 犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり県民運動… 6
 - すばらしいみやぎを創る協議会について…… 7
 - コミュニティ助成団体の紹介…… 7
- 裏表紙:あなたのまちのコミュニティづくり



エールくん

まちづくりに
ご活躍の
みなさまを
紹介します!

みやぎ花のあるまちコンクール

最優秀賞

小野地域
まちづくり
協議会
東松島市

小野地域まちづくり協議会は、東松島市小野地域に居住する住民の福祉や生活環境向上、そしてコミュニティ活動の推進を目的とした地域住民のためのまちづくりを行うため平成20年に設立されました。協議会は小野地域内の10自治会から構成され、目的達成のため、まちづくり・教育文化・健康福祉部会の3つの専門部会を組織して活動しております。



小野地域まちづくり協議会は、これからもみやぎ花のあるまちコンクールを通じて地域のまちづくりや美しい生活環境を創造し、東松島市を通過するすべての人達に、植栽による心の癒しを提供したいと考えております。

自治会住民の団結の強化やコミュニティ推進の一助となっております。

独自の花壇コンクールを実施していることですが、地域内の花壇は担当自治会を割り当て、それぞれの自治会が創意工夫を凝らして植え付けのデザインや花壇の管理を行い、その成果を協議会役員が審査員となったコンクールにて評価しています。コンクールを実施することにより、住民の植栽に関する関心が高まるばかりでなく、美化意識の向上や除草などボランティア活動の活発化が顕著に表れております。また、良い意味での競争心は、自治会住民の団結の強化やコミュニティ推進の一助となっております。



小野地域まちづくり協議会での植栽に関しては、まちづくり部会員が各自自治会の中心となり活動をしております。年間の活動状況は、花の種類、選定から始まり花壇の除草、耕運作業、マルチ敷設、植栽、花壇管理（水、除草等）、枯花撤去の流れで実施しております。

すばらしいみやぎを創る協議会はこんなことをしています



- すばらしいみやぎを創る運動推進助成金（令和6年度募集：5月から6月）
- すばらしいみやぎを創る運動功績者表彰（令和6年度募集：6月から8月）
- みやぎ花のあるまちコンクール【宮城県と共催】（令和6年度募集：5月から9月）
- すばらしいみやぎを創る推進委員研修会（令和6年度実施：10月）
- すばらしいみやぎを創る運動「県民のつどい」

～安全・安心まちづくりフォーラム～【宮城県と共催】（令和6年度実施：11月）

- 広報用花の種子の配布（令和6年度配布：4月から5月）
- 犯罪のない安全で安心なまちづくりリーフレット配布（令和6年度配布：通年）
- 安全で安心なまちを創る運動推進ウエットティッシュ配布（令和6年度配布：通年）
- 省資源・省エネルギー運動啓発資料配付（令和6年度配布：夏季、冬季）
- まちづくり広報紙「エール」の発行（令和6年度発行：3月）

各団体と連携して、まちづくりについての支援や助成を行っています。





▲担架を使用した訓練

8割超えの参加率
近年、全国各地で大雨による河川の氾濫などが頻発し、居住地域が迫川、夏川、北上川の3つの河川に囲まれ、過去に洪水を経験した地区であるため、令和元年

防災訓練の内容としては、情報収集・伝達訓練や避難訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練を行いました。その他にも「石森で起きた水害」と題して、最大の被害を出したカスリーン台風による(昭和22年9月)水害体験者による防災講話

住民の防災意識の高さを、情報収集・伝達訓練や避難訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練を行いました。その他にも「石森で起きた水害」と題して、最大の被害を出したカスリーン台風による(昭和22年9月)水害体験者による防災講話



▲手作りの水路を使った水圧体験

安全で安心なまちを創る運動
心の通い合う地域を創る運動
地域文化を大切に作る運動

多賀城市多賀モリ会 会長
和泉 匡倫 様 多賀城市

平成19年に会を立ち上げて以来、中心的なメンバーとして、地域において介護予防等に関する知識、技術の普及啓発を進めるとともに、市の介護予防事業等へ積極的に協力した。また、平成26年度以降は、約100名の会員を束ねる会長を務めながら、指導役としても活躍し、市民の健康づくりや介護予防に多大な貢献をしている。

心の通い合う地域を創る運動
美しい生活環境を守る運動

すばらしい七ヶ宿を創る協議会 会長
高橋 武則 様 七ヶ宿町

平成29年度から三年間、常任委員として、花いっぱい運動の活動を積極的に行い、環境美化活動に尽力した。現在は同会の会長を務めながら、横川地区自治会長としても活躍し、人望も厚く、行政区のリーダーとした多大な貢献をしている。

防災組織立ち上げ
平成22年に自治体から防災組織立ち上げの呼びかけがあり、細谷区自主防災組織を結成しました。その後、翌年に発災した東日本大震災が元で防災への意識が更に高まり、地震の防災訓練を開始しました。

には水害を想定した訓練を開始しました。住民の約8割以上が参加することとなり、非常に高い参加率について、代表を務める渡邊義昭氏(以下渡邊氏と略)は「地域柄、水害を想定した訓練に対しては、皆、非常に関心があったのだろう。」と話します。地域の子供たちは、水の被害について学ぶ機会も多いそうで、土地柄、古くから危機意識が高いことが伺えます。

を行いました。すでに当時の水害を知る人がほとんどいないため、宮城県自主防災組織育成活性化支援事業の一環として、貴重な講話の内容をまとめたリーフレットを作成し、細谷区全世帯に配布しました。

この先の防災について
細谷区自主防災組織について渡邊氏は「発災した場合は、老若男女関わらず、防災訓練を活かして、一人ひとりがすべきことを実践できればいいと思う。そのためには訓練に参加して、なじんでもらうことが大事。」と話しています。



▲車いすでの避難

心の通い合う地域を創る運動

すばらしい加美町を創る協議会 会長
佐々木 正敏 様 加美町

平成30年度から現在まで、すばらしい加美町を創る協議会の会長を務め、その間、冠婚葬祭の合理化運動について、町全域へ運動が浸透するよう町民や事業者等への周知活動を積極的に行うなど率先して行動し、協議会活動に多大な貢献をしている。

安全で安心なまちを創る運動
美しい生活環境を守る運動

すばらしい七ヶ宿を創る協議会 元常任委員
高橋 レイ子 様 七ヶ宿町

平成29年から令和4年まで、すばらしい七ヶ宿を創る協議会常任委員に就任するとともに、令和3年までの間は町婦人防火クラブの会長を務め、地域の防火防災の普及に尽力し、安全で住みよい地域づくりに多大な貢献をした。

帯毎の避難状況表示カードの作成など、自主防災に關しては、先進的な取組を實踐しています。

安全で安心なまちを創る運動

細谷区自主防災組織 登米市

令和6年度すばらしいみやぎを創る運動功績表彰 受賞者紹介

宮城県の北端、岩手県との県境に位置する登米市のほぼ真ん中に位置しています。農業が基幹産業であり、豊かな自然が自慢の地域です。行政区には代々住み続けている人も多く、現在の世帯数は47戸、居住人数は123名、平均年齢58歳の人々が暮らす地域となっています。



心の通い合う地域を創る運動
地域文化を大切に作る運動

Studio ビットバレー合同会社 代表社員
渋谷 祐子 様 多賀城市

平成19年当初から、市の「介護予防サポーター養成講座」の講師を務め、介護予防の担い手であるサポーターの養成、育成を行うとともに、ご当地体操「多賀モリ体操」を作り上げ、介護予防体操の普及啓発を行った。サポーターからの信頼も厚く、健康づくりや介護予防に多大な貢献をしている。

安全で安心なまちを創る運動
心の通い合う地域を創る運動
地域文化を大切に作る運動

浦宿二区 陽だまりの会 女川町

長年にわたり、福祉の向上を目指し、健康増進とスポーツ活動の普及に努めている。登下校時の見守りや一人暮らし高齢者の声がけ、近隣の女川高等学園とのスポーツ活動や、高齢者同士のお茶会等を実施するなど様々な活動に取り組み、町全体の街づくり・コミュニティづくりにも多大な貢献をしている。

第58回

県民のつどい

すばらしいみやぎを創る運動

安全・安心まちづくりフォーラム

すばらしいみやぎを創る運動の推進

安全・安心なまちづくりを目指して

今年で58回を迎えたすばらしいみやぎを創る運動「県民のつどい」安全・安心まちづくりフォーラムが令和6年11月19日、ホテル白萩（仙台市）で開催されました。県内各地から、地域やまちづくりのリーダー、防犯団体関係者など約120人が一堂に会しました。

会の草貴子会長から「オリジナリティのある町内会を目指して」と題し、女性目線でめめ細やかな地域づくりを行っている活動の概要が報告されました。

冒頭の表彰式では長年、本運動に功績のあった個人5名・2団体に表彰状と記念品が贈られました。また、宮城県と共催で行ったみやぎ花のあるまちコンクルの表彰式も行われ、その栄誉を称えられました。

また、会場では安全・安心パネル展示も行われており、参加者が熱心にパネルを見る様子もありました。



▲藤崎会長から賞状を受け取る受賞者



▲草会長による活動紹介



▲京師氏による記念講演



▲京師氏による記念講演



▲NPO法人SETによる研修会（石巻会場）



▲（一社）はなやまネットワークによる研修会（大河原会場）

すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会

県内各地でまちづくりや地域づくりに取り組む方を対象に、県北地域（石巻会場）と県南地域（大河原会場）の2箇所ですばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会を開催しました。

すばらしいみやぎを創る推進委員や自治体のまちづくり担当職員、地域のまちづくり関係者など延べ39名が参加しました。

石巻会場【令和6年10月21日（月）開催】

講演：「ひとが減るからこそ豊かになるひとづくり、まちづくり、社会づくりに向けて」
講師：特定非営利活動法人SET副理事長兼交流部長 石渡 博之氏
全国表彰：令和元年あしたのまちくらしづくり活動賞内閣総理大臣賞受賞団体

大河原会場【令和6年10月28日（月）開催】

講演：「小さな拠点づくりに向けた10年間の歩み
～自分たちでやれることは自分たちでやろう！～」
講師：一般社団法人はなやまネットワーク事務局長 佐々木 徳吉氏
花山地区地域おこし協力隊 海山 裕太氏
全国表彰：令和5年あしたのまちくらしづくり活動賞内閣総理大臣賞受賞団体

すばらしいみやぎを創る運動推進助成事業

活動に取り組む関係団体へ活動費の助成を行いました

心の通い合う地域を創る運動、美しい生活環境を創る運動

すばらしいおながわを創る協議会

被災地の女川町では、花いっぱいでおながわの街づくりを震災後進めています。今回は、花の少ない通りに花壇づくりから苗植えまで、子供から大人まで協力して取り組みました。将来はフラワーロードとして、みんなに楽しんで欲しいと願っています。



安全で安心なまちを創る運動、心の通い合う地域を創る運動

日本ボーイスカウト宮城県連盟

令和6年9月8日(日)イオンモール富谷において「全国防災キャラバン」を実施しました。ハンディキャップ体験、防災クイズ、親子で考える防災対策等々、防災に関わるプログラムを提供し、多くの親子に防災の意識を持ってもらう機会としました。



安全で安心なまちを創る運動、心の通い合う地域を創る運動

宮城県小学校長会

七ヶ浜町立汐見小学校では、防災教育として、PTAと「汐見っ子キャンプ2024」を行いました。校庭にテント泊をしながら、防災倉庫・防災グッズの見学を行い、防災・減災に関する意識を高めました。



七ヶ浜町立汐見小学校

富谷市立日吉台小学校では、学校に隣接する「ゆめの森」の遊歩道や花壇の整備、鳥の巣箱づくりに取り組みました。



富谷市立日吉台小学校

安全で安心なまちを創る運動、心の通い合う地域を創る運動

宮城県中学校長会

石巻市立青葉中学校では、特設ボランティア部が中心となり、「サンクスリボン」を地域住民と作りしました。作成物を感謝の気持ちを込めて地域住民等に渡します。リボンのように地域と強くむすばれていくことを目指します。



石巻市立青葉中学校

石巻市立河北中学校では、年末、一人暮らしの高齢者に、干支の置物とメッセージ、防災合言葉入りの啓発ティッシュを届けました。



石巻市河北中学校

心の通い合う地域を創る運動、美しい生活環境を創る運動

宮城県私立中学高等学校連合会

聖ウルスラ学院英智高等学校のJRC部（Junior Red Crossの略）では春と秋に学校前花壇と学校から駅までの通りで、季節の花々に植え替える植栽活動を行っています。近隣住民の方からは励ましの言葉を頂くこともあり、うれしく思っています。



すばらしいみやぎを創る運動を実践している団体「宮城県生活学校連絡協議会」事業紹介

宮城県生活学校運動大会を開催 ～共に支え合う地域・住み続けたい地域づくり～

豊かな地域社会の形成を目指し、令和6年12月10日(火)東京エレクトロンホール宮城において「令和6年度宮城県生活学校運動大会」が開催されました。生活学校メンバーや補佐メンバー、生活学校関係者など約50名が参加しました。



▲藤田氏による基調講演



▲SDGsの実践及び仲間づくり

基調講演：「生活学校の歴史とか基本のこと。」

公益財団法人あしたの日本を創る協会事務局次長 藤田真之氏

講話：「わたしと生活学校」

宮城県生活学校連絡協議会長 祝前 清美氏

SDGs実践及び仲間づくり：押し花で作るボールペン、紙で作るブローチづくり

生活学校ではこんな取り組みをしています

女性を中心に、身近な暮らしの中の問題を解決し、生活や地域や社会のあり方を変えていく活動です。昭和39年のスタート以来、時代が変わっても様々な問題に取り組み、今では当たり前になっている問題に対して、成果を上げてきました。

- 有害食品添加物の規制や禁止
- 休日・夜間診療の実現
- 禁煙車両の導入
- 市町村ゴミ分別収集品の拡大
- 過剰包装の追放など

※登録メンバー、新規生活学校の開設を募集しています。お問い合わせはすばらしいみやぎを創る協議会事務局まで！

犯罪のないみやぎ 安全・安心まちづくり県民運動



宮城県では、「犯罪のない安全・安心な地域社会の実現」を目指した県民運動を推進しています。

安全に安心して暮らすためには、自治体や警察の活動に加え、県民の皆さんが、「自らの安全は自らが守る」、「地域の安全は地域で守る」という意識をもってまちづくりに取り組むことが重要です。県民の皆さん一人ひとりが手を取り合い、協力して、安全・安心まちづくり県民運動を進めていきましょう。



詐欺の被害にあわないか心配…

宮城県内の特殊詐欺被害額は過去最悪の約12億円に。(令和6年11月末)

「犯人と話をしない」

「犯人から電話がかかってこない」ための対策が有効です！

いまできることはこちら↓

- ✓電話機の「留守」ボタンを押して常に留守番設定にしておく。
- ✓非通知番号は着信拒否にする。
- ✓国際電話は利用休止にする。

(国際電話不取扱受付センター 0120-210364 に電話で申し込むことができます。)



強盗・空き巣が心配…

「犯人にねらわれにくくする」

「侵入を防ぐ」対策をとみましょう！

いまできることはこちら↓

- ✓高額の現金は家に置かない。
- ✓金や宝飾品等は金融機関の貸金庫に保管する。
- ✓窓ガラスに防犯フィルムを貼る、補助錠をつける。
- ✓踏むと大きな音がする防犯用の砂利を敷く。
- ✓センサーライトや防犯カメラをつける。



防犯設備に迷ったら…

防犯設備のプロ「宮城県防犯設備士協会」にご相談ください。

☎022-219-4552



すばらしいみやぎを創る協議会について

すばらしいみやぎを創る協議会では、県民が主体的に取り組む「活力ある個性的で心豊かな地域社会を創造する県民運動」を展開しています。明るく住み良く、安全で安心な地域社会の実現を目指して、情報交換や交流の促進なども図りながら、4つの運動の柱をテーマに積極的に活動を展開することとしています。

4つの運動の柱

1. 安全で安心なまちを創る運動
2. 心の通い合う地域を創る運動
3. 美しい生活環境を創る運動
4. 地域文化を大切にする運動

すばらしいみやぎを
創る協議会については
こちらを見てね



たびたび登場するエールくん。
気になっている人も多いのではないのでしょうか。

彼はすばらしいみやぎを創る協議会のイメージキャラクターです。色々な情報を集めるためのアンテナをつけた「シカ」をモチーフにしたもので、「ミヤギノハギ」の花を持って、英知と実行力で、元気よく「地域づくり」に走り回る姿を表現しています。

県花の
「ミヤギノハギ」と
県獣の「シカ」
をモチーフに



宝くじ社会貢献広報事業の紹介

亘理町吉田東部地区まちづくり協議会

亘理町は、仙台湾に面し、宮城県最南部、亘理郡の北半分を占める気候温暖な町です。令和7年2月には町制施行70周年を迎え、人口は約32,800人です。町内では5つの地区まちづくり協議会が活動しており、「吉田東部地区まちづくり協議会」は、町の南東部、沿岸地域の9つの自治組織で構成され、平成22年12月に設立しました。翌23年3月には、東日本大震災による未曾有の大津波に襲われ、全地域が浸水被災しました。設立以来、吉田地区交流センターを拠点に活動しており、新春お楽しみ演芸会、健康や防災・防犯に関する講座、スポーツ大会、郷土料理教室等、様々な事業を展開し地区民の



▲吉田浜海岸清掃



▲放課後学校inながとろ

このボウリングセットは、体格や体力に関係なく老若男女だれでも楽しめます。これらの備品が、夏祭りを初め、スポーツ大会等の各種イベントに使用されれば、多くの事業実施がこれまで以上に円滑になり、かつ充実したものになるものと期待されます。そして様々なイベントを通して地域住民の活発な交流を図り、コミュニティづくりの活動をより一層充実させていきたいと考えています。

健康・防災への意識向上と相互の親睦を図ってきました。中でも国内最大級の鳴り砂海岸、吉田浜海岸のクリーンアップ活動は、毎年2回実施しています。この鳴り砂は大津波被災後もなお存続していることが「仙台湾鳴り砂研究会」の早川前代表により確認され、地域での鳴り砂保全の気運が高まっています。将来は「町の宝物」として、全町民参加の鳴り砂保全活動に向けて取り組みたいと思っています。

今回のコミュニティ助成金では、かき氷機、やきそば焼き機等や、ビーンボウリングセットを整備いたしました。



▲ふれあい健康まつり



あなただのまちの コミュニティづくり

皆さんの地域の町内会や自治会などでは、環境美化などのコミュニティ活動が盛んに実施されていることでしょう。そのような活動の中で、こんな施設や備品があったら、もっと活動が活発になるのと思ったことはありませんか。

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの受託事業費を財源とし、市町村を通じて、地域の町内会、自治会の活動への助成を行っています。

コミュニティセンター 助成事業

地域住民の共同活動の拠点となる多目的な総合施設の整備事業への助成です。

集会所や公民館などのコミュニティセンターの新築や大規模な修繕、その施設に必要な備品等が対象となります。



石巻市(大橋町内会)

一般コミュニティ 助成事業

地域的な共同活動に必要な備品や設備の整備事業への助成です。

環境美化・文化学習・体育・レクリエーションなど様々な活動で使用する備品が対象となります。



栗原市(堰根地区自治会)

青少年健全育成 助成事業

青少年の健全育成を目的に地域で実施する親子参加型のソフト事業への助成です。

各種野外活動の実施、スポーツやレクリエーション大会の開催などが対象となります。



本事業に関する
お問い合わせは

宮城県環境生活部共同参画社会推進課

●電話 022-211-2576

●HP <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/comijyo.html>

または、各市町村コミュニティ担当課までお気軽にお問い合わせください。(仙台市を除く。)



令和7年3月発行
第70号

発行/すばらしいみやぎを創る協議会 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県環境生活部共同参画社会推進課内
TEL022(211)2576 FAX022(211)2392